

全日本トラック協会における 車輪脱落事故防止に係る取り組みについて

令和8年9月16日

公益社団法人全日本トラック協会

(1) 大型車用トルク・レンチの導入助成事業の実施

- ・車輪脱落事故の防止を図るため、大型車用トルク・レンチの購入に対し、安全装置等導入促進助成事業の対象として助成
- ・助成対象装置(トルク・レンチ)
 - ①「600N・m」以上の締め付け能力を有する大型車用トルク・レンチ(自立型トルク・レンチ、トルクセッター型インパクトレンチを含む。)
 - ②車両総重量8トン以上の事業用トラックを管理する事業所を対象



画像の出典:株式会社東日製作所ホームページ

(2) 都道府県トラック協会における車輪脱落事故防止の取り組み事例の共有

- ・都道府県トラック協会において令和7年度に実施する車輪脱落事故防止に係る取り組みを一覧にまとめ、都道府県トラック協会間にて情報共有
 - ・実施予定時期
 - ①～令和8年2月
 - ・取り組み例
 - ①ホイールナットマーカの配布
 - ②車輪脱落事故防止セミナーの開催
- タイヤメーカーやタイヤ販売店の協力のもと、座学や実習を実施



(3) 大型トラックのタイヤ交換作業手順 動画及びリーフレットの作成・配布

- ・車輪脱落を防ぐための具体的なタイヤ交換作業の手順と方法を周知するリーフレット「ストップ 車輪脱落事故～さらに減らそう車輪脱落事故」を作成
- ・車輪脱落事故防止専用サイトHPで動画を公開し、正しい脱着作業を啓発

ホイール・ナットの緩みを見る化へ
規定トルクで締め付けたホイール・ナットに「マークシ」して、走行中によりホイール・ナットの緩み状態を確認できます。
確実な日常点検の実施方法を社内内で再確認しましょう。

50km～100km走ったら必ずトルクレンチで増し締めを!
(※規定トルク) 500～600N・m

規定トルクで締め付けを行っても、走行すると必ず緩みが発生します。
タイヤを交換してから50kmから100km走行後、トルクレンチを使って、規定トルクでの増し締めを必ず実施してください。
(トルクレンチを所有していない場合は、最寄りの整備工場など、トルクレンチが備わっているところへ実施しましょう。)

※車輪交換作業を行う場合は、道路上で行う場合は、必ず安全帯を装着してください。

トルクレンチ導入助成 実施中!
助成の対象は最寄りのトラック整備にお任せください。

車輪脱落事故を起こすと行政処分等により車両の使用停止!

行政処分等の基準
ホイール・ボルトの折損、ホイール・ナットの脱落またはそれに類する事実と認められる車輪脱落事故が発生したものの2件
初違反 20日車 再違反 40日車
(※3年以内に再発すると「整備管理者は解任」されます)

適正なタイヤ交換作業の手順などの情報はこちらからご覧ください

タイヤ交換作業の手順と方法(動画)
車輪脱落事故の予防
日本点検項目と点検のポイント(動画)
タイヤ交換のポイント(動画)

事業者努力の結果、2021年度以来の減少!

年度	車輪脱落事故発生件数
2018年度	41件
2019年度	65件
2020年度	67件
2021年度	81件
2022年度	112件
2023年度	131件
2024年度	123件
2025年度	140件
2026年度	142件
2027年度	126件

近年の人身事故の状況

年度	車輪脱落事故発生件数	死亡事故	重傷事故	軽傷事故
2024年度	1件	1件	1件	2件
2023年度	1件	1件	1件	1件
2022年度	1件	1件	1件	1件
2021年度	1件	1件	1件	4件

JTA 全日本トラック協会

(4) 大型車の車輪脱落事故防止に係る 令和7年度緊急対策の周知徹底

- ・自工会作成「防ごう大型車の車輪脱落事故 おと・さない・」チラシ
- ・国土交通省、自工会作成「ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆に注意」チラシ
- ・周知方法
全日本トラック協会機関紙「広報とらつく」及びHPに掲載し周知を図った。

防ごう 大型車の車輪脱落事故 おと・さない・

おと・さない・のための点検整備

トルクレンチで適正締付
適正なトルクで締め付けると、タイヤの緩みや破損を防げます。

さびたボルトは清掃交換
ボルトの錆びは、タイヤの緩みや破損の原因になります。清掃と交換が必要です。

いちにち一度はゆるみの点検
走行前・走行中・走行後、必ずゆるみの点検を行います。

カト・ワッシャー 隙間・給脂
カト・ワッシャーの隙間・給脂は、タイヤの緩みや破損の原因になります。

ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆に注意!

ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆は、車輪脱落事故の原因になります。錆びた部分を確認し、必要に応じて清掃や交換を行います。

ホイールボルト、ナットの錆
ホイールボルト、ナットの錆は、車輪脱落事故の原因になります。錆びた部分を確認し、必要に応じて清掃や交換を行います。

ディスクホイール、ハブの錆
ディスクホイール、ハブの錆は、車輪脱落事故の原因になります。錆びた部分を確認し、必要に応じて清掃や交換を行います。

(5) その他の取り組み

① 令和7年春の全国交通安全運動

- ・運動期間: 令和7年4月6日(日)～15日(火)
- ・実施計画に「車両の日常点検及び定期点検の確実な実施に努めることにより、車輪脱落事故防止対策の徹底を図る。」ことを項目化

② 令和7年度「トラック運送業界における点検整備推進運動」

- ・令和7年9月1日(日)～9月30日(月)までを全国統一の「自動車点検整備推進運動強化月間」
- ・上記に加え、地域事情に応じて各都道府県トラック協会が独自に設定する1ヶ月間を「地方独自強化月間」とする
- ・運動強化月間及び地方独自強化月間中、法定点検時期の有無にかかわらず、一回以上、ホイール・ナットの緩みの重点点検を実施
- なお、重点点検期間中に冬用タイヤへの交換を予定している場合には、冬用タイヤ交換後に点検

③ 令和7年秋の全国交通安全運動

- ・運動期間: 令和7年9月21日(日)～30日(日)
- ・実施計画に「早めに冬用タイヤ交換を計画する他、適切なタイヤ脱着作業の実施により車輪脱落事故防止対策の徹底を図る。」ことを項目化

④ 第64回「正しい運転・明るい輸送運動」

- ・運動期間: 令和7年11月16日(日)～令和8年1月10日(木)
- ・実施計画に「車両の日常点検及び定期点検の確実な実施に努めることと併せて、早めに冬用タイヤ交換を計画する他、適切なタイヤ交換作業の実施により車輪脱落事故防止対策の徹底を図る。」ことを項目化

○令和8年度の主な取り組み

(1) 大型車用トルク・レンチの導入助成事業の実施

- ・車輪脱落事故の防止を図るため、大型車用トルク・レンチの購入に対し、安全装置等導入促進助成事業の対象として助成

(2) 都道府県トラック協会における車輪脱落事故防止の取り組み事例の共有

- ・都道府県トラック協会において令和8年度に実施する車輪脱落事故防止に係る取り組みを一覧にまとめ、都道府県トラック協会間にて情報共有

(3) 大型トラックのタイヤ交換作業手順動画及びリーフレットによる周知

- ・車輪脱落を防ぐための具体的なタイヤ交換作業の手順と方法を周知するリーフレット「ストップ 車輪 脱落事故～さらに減らそう車輪脱落事故」及び車輪脱落事故防止専用サイトHPで動画を公開し、正しい脱着作業を啓発

(4) 大型車の車輪脱落事故防止に係る令和8年度緊急対策の周知徹底

- ・自工会作成「防ごう大型車の車輪脱落事故 お・と・さ・ない・」チラシ等を活用した、会員事業者に対する周知活動を実施

(5) その他

- ・「全国交通安全運動」「正しい運転・明るい輸送運動」等の取り組みを推進